

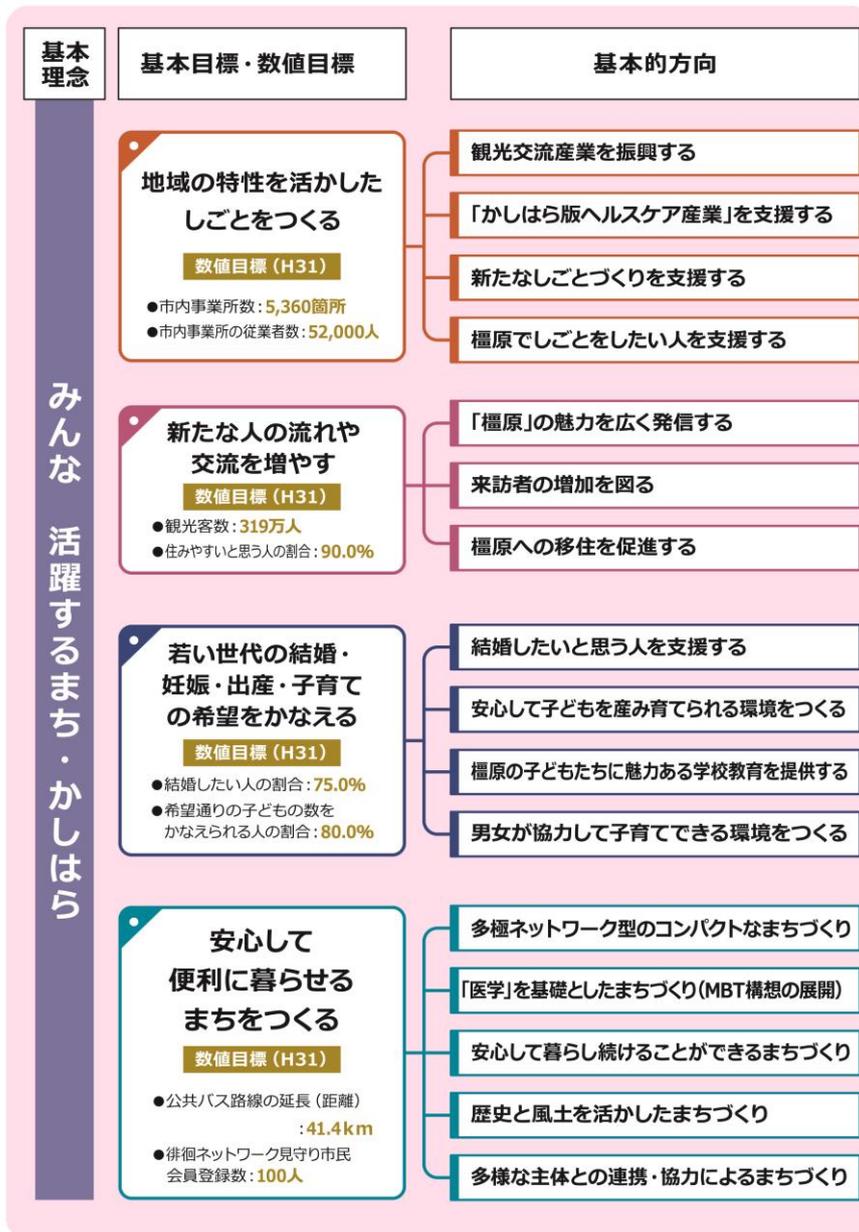
檀原市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 30 年度(平成 27~29 年度実施分)効果検証【概要版】

1. 檀原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

総合戦略は平成 27 年度(2015 年度)から平成 31 年度(2019 年度)の 5 年間に少子高齢化の進展への的確な対応と人口減少への歯止めを実施し、将来にわたって活力あるまちの維持を目的として本市の取り組む基本的方向や、具体的な施策を取りまとめたもの。

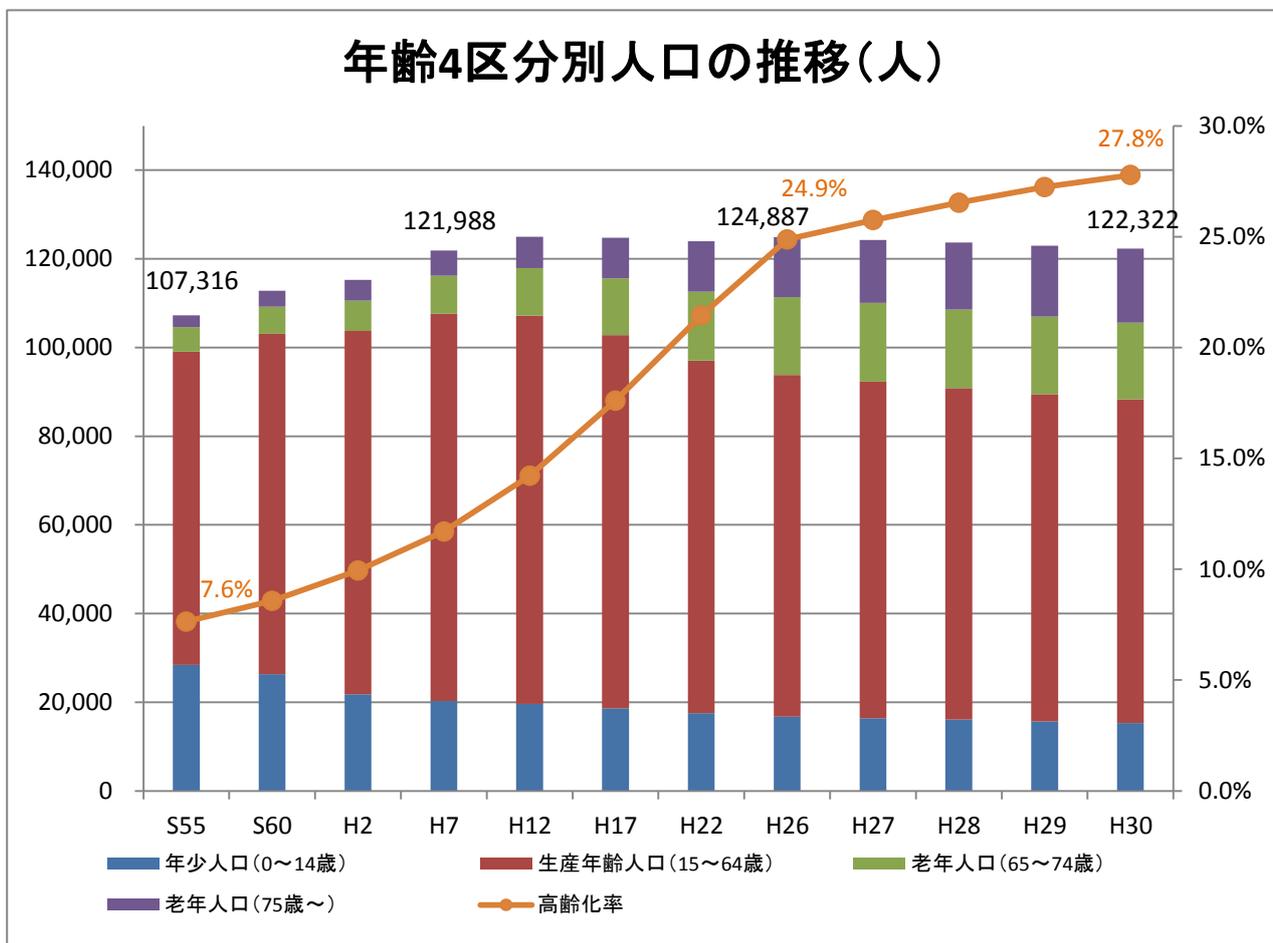
それぞれの進捗について平成 31 年度を目標年次として、数値目標及び重要業績評価指標(KPI)を設定している。



2. 人口・数値目標の概要

<人口推移の状況>

本市の人口について、平成26年（総合戦略策定時の直近）の124,887人から減少が続き、評価を行った平成30年には122,322人となった。高齢化率（市内総人口に占める65歳以上人口の割合）は24.9%から27.8%と上昇している。



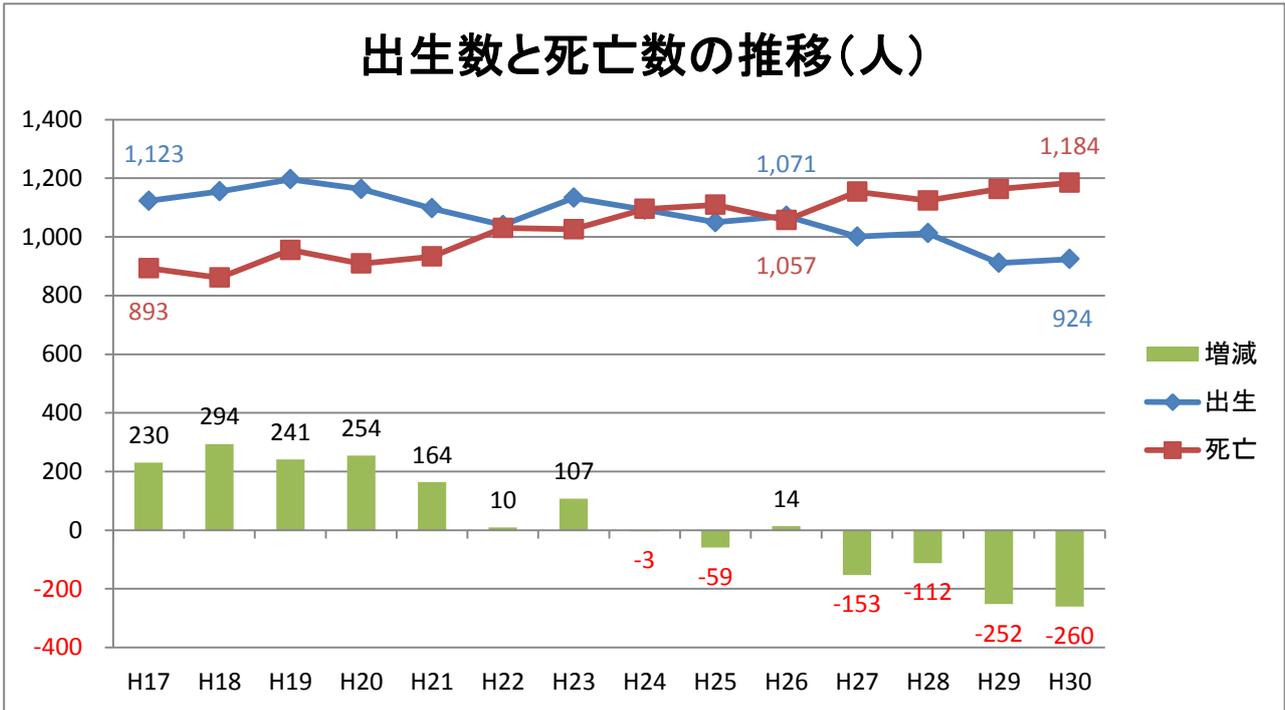
資料：H22までは国勢調査、H26～H30は住民基本台帳(10月1日現在)

総人口推計

	2010(H22)年	2015(H27)年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
檉原市推計(計画策定時)(人)	125,602	125,153	124,427	122,841	120,634	118,112	115,316	112,475
社人研(計画策定時)(人)	125,602	124,973	123,113	120,103	116,197	111,665	106,736	101,566
社人研(H30年発表)(人)	—	124,111	121,690	118,178	113,859	109,039	103,943	98,773

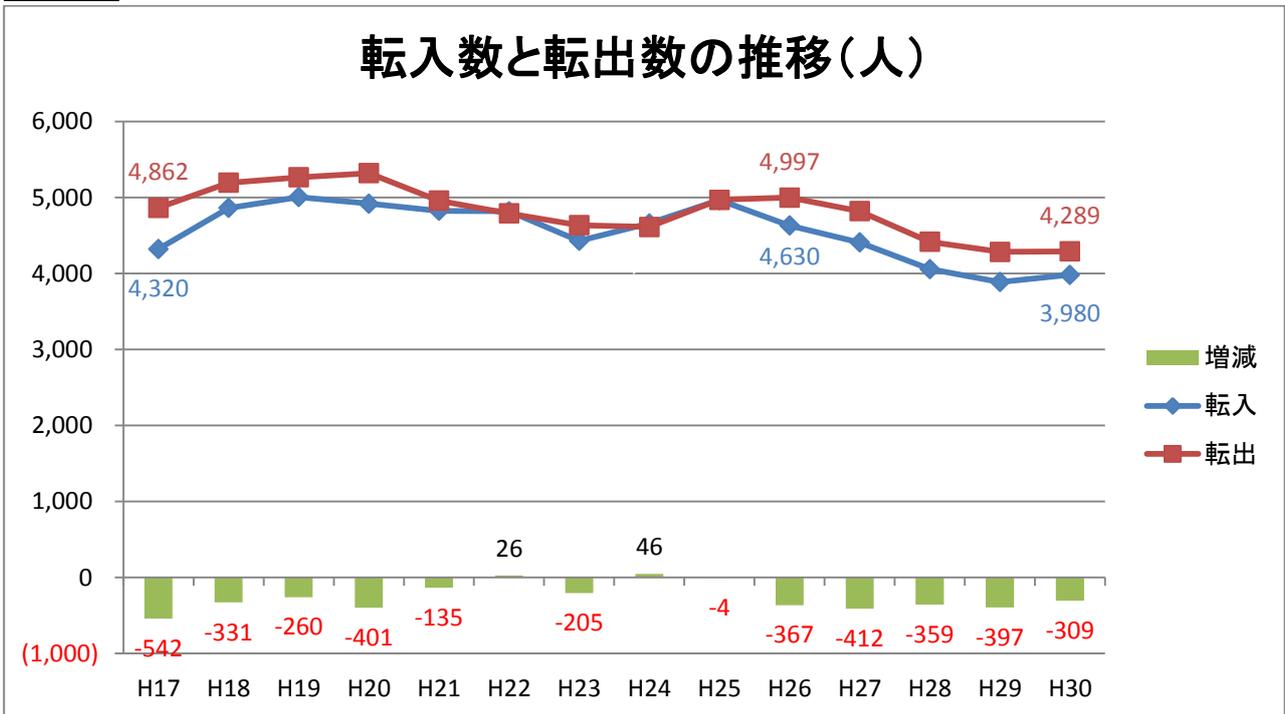
社人研：国立社会保障・人口問題研究所 2010年、社人研(平成30年)2015年は国勢調査による実績値

自然動態 平成 27 年以降は死亡数が出生数を上回る自然減が続き、減少が大きくなっている。



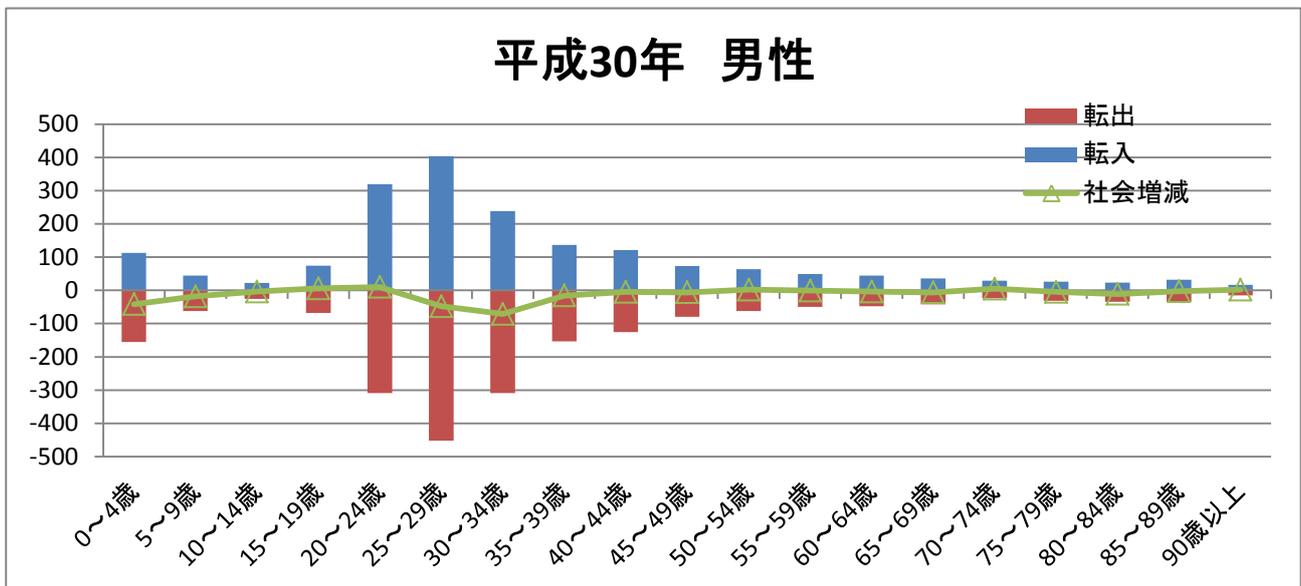
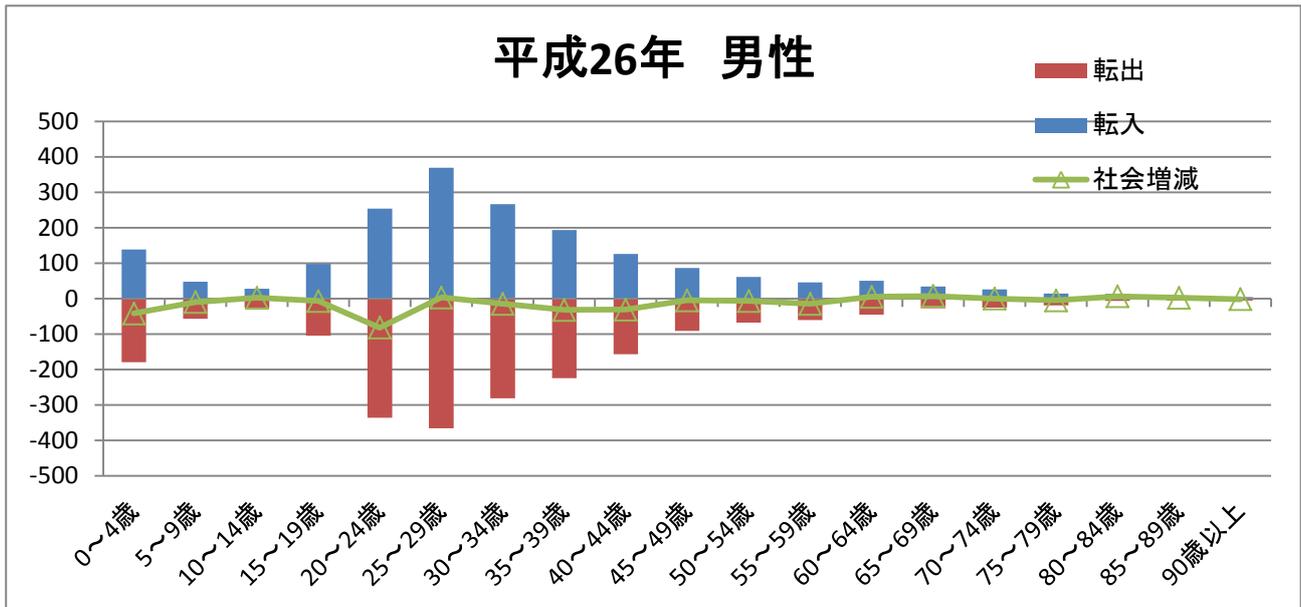
資料: 奈良県「市町村別人口動態」(各年前年の 10 月 1 日～当年の 9 月 30 日)

社会動態 転入数・転出数は概ね転出超過で推移し、社会減が続いている。



資料: 奈良県「市町村別人口動態」(各年前年の 10 月 1 日～当年の 9 月 30 日)

5歳階級別の転入数・転出数と純移動数（男性）

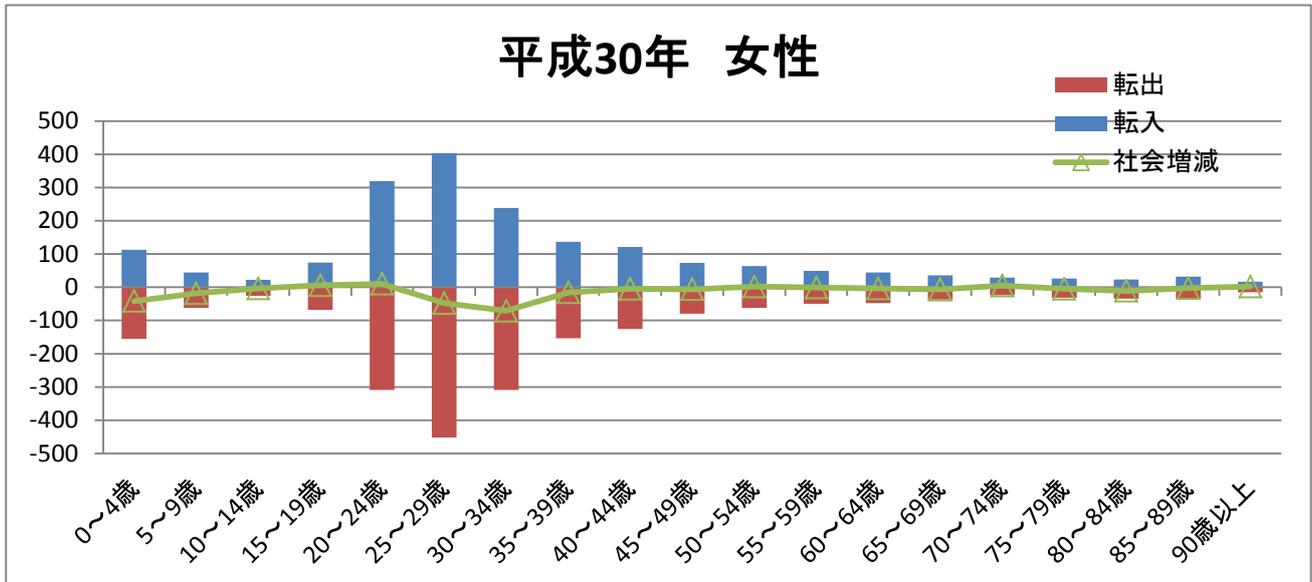
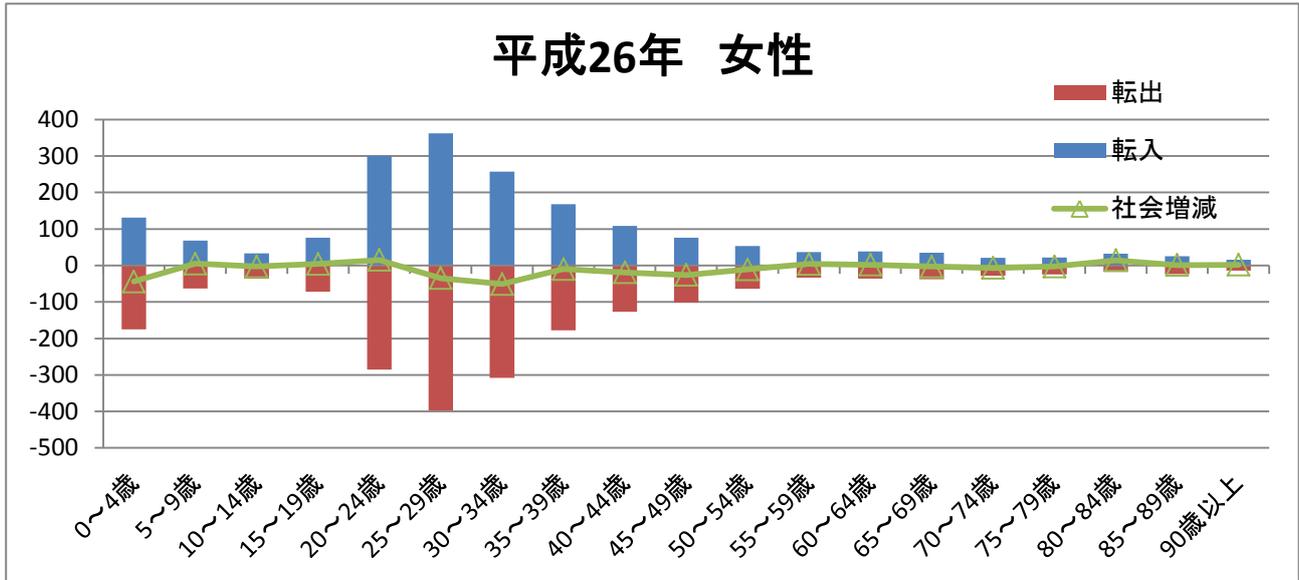


5歳階級別社会増減数（男性）

年 齢	0 ~ 4	5 ~ 9	10 ~ 14	15 ~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 以 上
H 26	-42	-10	2	-7	-82	3	-15	-32	-31	-5	-7	-15	5	7	0	-5	6	2	-2
H 30	-56	7	-5	-19	-58	1	-43	-31	-30	-23	-24	-16	0	-2	-3	4	-1	-7	1

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

5歳階級別の転入数・転出数と純移動数（女性）



5歳階級別社会増減数（女性）

年齢	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90以上
H26	-44	5	-3	4	15	-35	-51	-10	-19	-26	-11	4	2	-3	-7	-3	14	1	2
H30	-42	-18	-4	6	10	-48	-71	-16	-5	-6	2	-1	-4	-6	5	-5	-11	-3	2

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

＜数値目標及び KPI＞（数値は平成 29 年度 3 月末日時点とする）

「橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、基本理念とする「みんな 活躍するまち・かしはら」に向けて、基本目標を定め、それに基づき基本的方向及び具体的な施策を示すとともに、それぞれの進捗について平成 31 年度を目標年次として、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）を設定している。

基本目標における数値目標は 8 件であり、その施策にかかる KPI は総数が 32 件である。

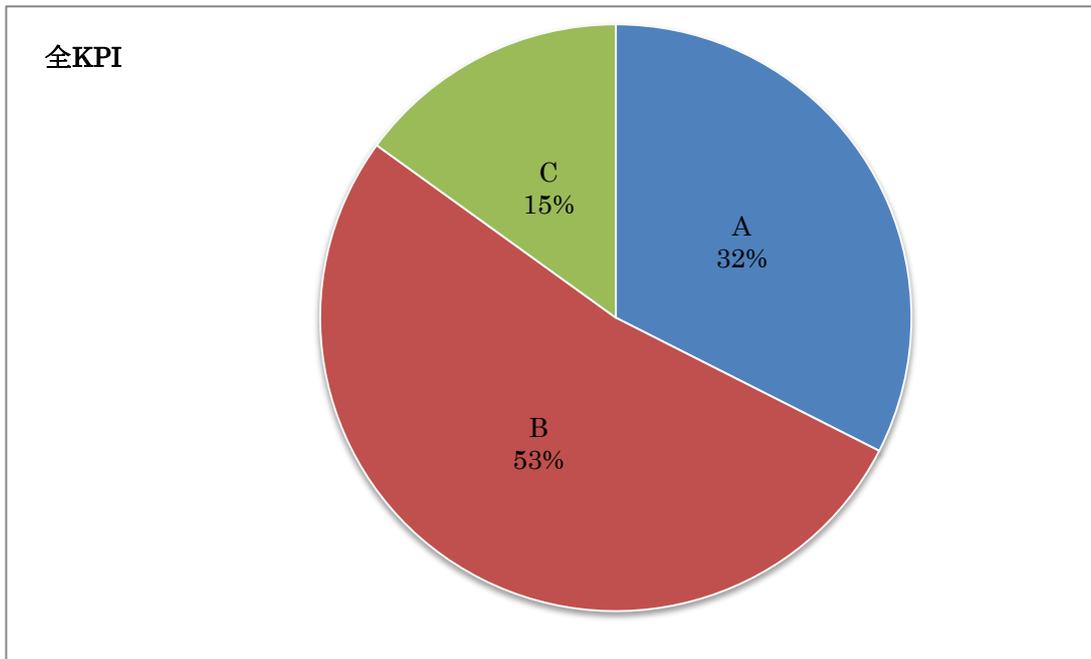
これを進捗状況に応じて、平成 27 年度から平成 29 年度までを対象に、平成 29 年度時点における達成度を次の 3 つ（A・B・C）に分類した。

- A** 達成度 60%以上：目標達成に向けて進捗している、または目標を達成している
- B** 達成度 60%未満：現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない
- C** その他：現時点で実績値の把握ができないもの、または実績値のないもの

全体 KPI 検証結果（全 KPI=数値目標+(KPI)）

	全 KPI	数値目標	(KPI)
A	13	1	12
B	21	4	17
C	6	3	3
合計	40	8	32

(KPI):基本的方向の重要業績評価指標



総人口と全 KPI の検証をふまえて

橿原市の平成 30 年 10 月 1 日時点の人口は 122,322 人となり、計画策定時に示した橿原市人口推計及び国立社会保障・人口問題研究所（社人研）人口推計の 2020 年をすでに下回っている。出生数と死亡数をみると、その差である自然増減は平成 24 年度以降横ばいとなっていたが、平成 27 年から死亡数が出生数を上まわる自然減が続き、平成 30 年には 260 人減となり自然減が顕著にあらわれている。転入数と転出数の推移は概ね転出超過で推移し、平成 30 年は 309 人の社会減となり、人口の減少は自然減と社会減の両面で起こっている。

転入数・転出数を平成 26 年と平成 30 年で比較すると、ともに男性では 30～59 歳で転出が目立っているが、なかでも平成 26 年と比べると平成 30 年には 30～34 歳、45～54 歳で転出超過が大きくなった。男性は転出超過の大きい年齢層が増えたことがわかる。女性では平成 26 年は 25～54 歳で転出超過がみられたが、平成 30 年では 40～54 歳の転出超過は減少したものの、25～39 歳の転出超過は大きくなった。女性は転出超過の大きい年齢層は減ったものの、超過幅が大きくなった。

設定した数値では合計で 40 の数値目標及び KPI があり、グラフの A（青色部分）は、総合戦略の期間 5 年間のうち、3 年経った平成 29 年度末の数値目標に対して 60%以上達成したものについて、目標達成に向けて進捗又は目標達成しているとして表しており、これが全体の 32%である。B（赤色部分）は、目標達成に向けてまだ政策効果が十分に表れていない取り組みで 53%、残りの C（緑色部分）15%は現時点で数字が取れていない、または把握できていないものである。

個別の基本目標ごとにみると、基本目標 1「地域の特性を活かしたしごとをつくる」では A40%、B50%、C10%、基本目標 2「新たな人の流れや交流を増やす」では A37%、B50%、C が 13%、基本目標 3「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」では A18%、B64%、C18%、基本目標 4「安心して便利に暮らせるまちをつくる」では A36%、B46%、C18%となり、それぞれ、現時点で目標数値に向けて未達成のもの割合が高くなっている。

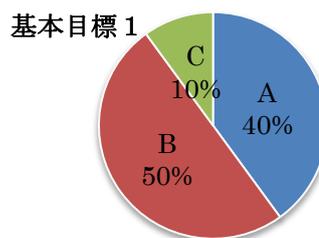
平成 30 年 2 月に分庁舎と宿泊施設等から構成される複合施設（ミグランズ）がオープンし、周辺の空き店舗出店支援や集客イベント等により市内外からの賑わいがみられるようになった。また、観光政策の強化は本市全体の観光客の増加に結果として現れ、基本目標 2 として定めた「新たな人の流れや交流を増やす取り組み」の効果が感じられる。基本目標 3、4 については、指標値として順調に推移しているものもあるが、全体として明確な効果の発現が感じられず、今後の指標値を注視する必要がある。

一方で、基本目標 1「地域の特性を活かしたしごとをつくる」の面では企業誘致、医療・介護または健康等に関連する新たなヘルスケア産業についてのまちづくりをこれから進めることから、関連した産業や雇用の創出にまだ至っておらず、その結果として市内従業者の数も伸びがみられなかった。

転出超過の年齢層からみて結婚から子育てまでの年齢層が安心して働き、生活できるさらなる環境づくりに取り組むことや定住・移住人口、交流人口を増やしていくことにより活力あるまちづくりを進めていくことが求められ、引き続き本戦略の 4 つの基本目標に向けて取り組んでいく。

基本目標1 地域の特性を活かしたしごとをつくる

	全 KPI	数値目標	(KPI)
A	4	0	4
B	5	2	3
C	1	0	1
合計	10	2	8



数値目標の進捗状況(実績値及び目標値は3月末時点とする)

指標名	初期値	実績値	目標値(H31)	進捗
市内事業所数(箇所)※	5,060 (4,635)	4,477 (H28)	5,360 (4,910)	B 未達成
市内事業所の従業者数(人)※	50,072 (46,286)	46,427 (H28)	52,000 (48,070)	B 未達成

(※)数値目標としている「市内事業所数」「市内事業所の従業者数」における平成26年度の初期値、平成31年度の目標値初期値は、総合戦略の策定時に公表されていた平成26年経済センサス基礎調査の速報値で設定していたが、平成30年度には確定値として公表されているため、初期値及び目標値について確定値を(カッコ内)に示した。ただし、平成29年度の進捗は、平成28年経済センサスー活動調査の確定値(A~R 全産業(S公務を除く))で評価したため、平成26年経済センサス基礎調査の確定値は民営事業所数・従業員数(A~R 全産業(S公務を除く))で設定した。

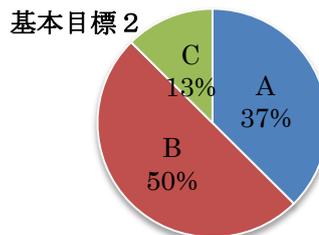
基本的方向

重要業績評価指標(KPI)(数値は平成29年度3月末日時点とする)

基本的方向	KPI	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
観光交流産業を振興する	空き店舗出店支援件数(件)	2	8	5	A 達成に向け進捗または達成
「かしはら版ヘルスケア産業」を支援する	ヘルスケア産業相談件数(件)	—	0	8	C 実績値なし
	薬用作物生産振興促進事業補助金の対象面積(a)	27.5	30	60	B 未達成
新たなしごとづくりを支援する	融資件数(件)	300	186	350	B 未達成
	創業者相談件数(件)	—	165	45	A 達成に向け進捗または達成
	企業立地補助金申請数(件)	2	10	10	A 達成に向け進捗または達成
樺原でしごとをしたい人を支援する	青年就農者に対する給付受給者数(人)	4	8	8	A 達成に向け進捗または達成
	合同説明会の開催回数(回)	—	1	2	B 未達成

基本目標2 新たな人の流れや交流を増やす

	全 KPI	数値目標	(KPI)
A	3	1	2
B	4	0	4
C	1	1	0
合計	8	2	6



数値目標の進捗状況(実績値及び目標値は3月末時点とする)

指標名	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
観光客数(万人)	252	301	319	A 達成に向け 進捗または 達成
住みやすいと思う人の割合(%)	84.8	—	90.0	C 実績値なし

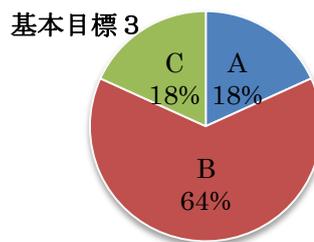
基本的方向

重要業績評価指標(KPI)(数値は平成29年度3月末日時点とする)

基本的方向	KPI	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
「榎原」の魅力を広く発信する	観光関連ホームページの閲覧回数(千回)	1,378	1,440	2,000	B 未達成
	移住ナビの閲覧回数(回)	—	257	1,000	B 未達成
来訪者の増加を図る	外国人宿泊者数(人)年単位	15,213	22,014	20,000 →25,000	A 達成に向け 進捗または 達成
	伝統的町家の再生件数(件)	8	46	25	A 達成に向け 進捗または 達成
榎原への移住を促進する	榎原への移住の問い合わせ件数(件)	—	3	22	B 未達成
	空き家相談会開催回数(回)	—	4	12	B 未達成

基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

	全 KPI	数値目標	(KPI)
A	2	0	2
B	7	0	7
C	2	2	0
合計	11	2	9



数値目標の進捗状況(実績値及び目標値は3月末時点とする)

指標名	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
結婚したい人の割合(%)	62.0	—	75.0	C 実績値なし
希望通りの子どもの数をかなえられる人の割合(%)	73.4	—	80.0	C 実績値なし

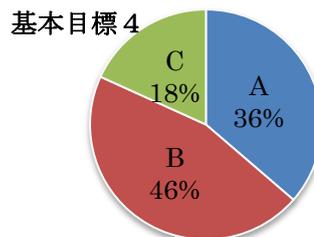
基本的方向

重要業績評価指標(KPI)(数値は平成29年度3月末日時点とする)

基本的方向	KPI	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
結婚したいと思う人を支援する	婚活イベントの開催回数(件)	1	3	10	B 未達成
	婚活支援の助成団体数(団体)	—	0	5	B 未達成
安心して子どもを産み育てられる環境をつくる	第3子以上を出産する人の人数(人)	171	155	175	B 未達成
	子育てが楽しいと感じる人(%)	①77.0 ②64.0	①79.5 ②70.6	①82.0 ②67.0	A 達成に向け進捗または達成
	①就学前保護者 ②小学生保護者 初期値はH25				
	待機児童数(人)	12	20	0	B 未達成
檀原の子どもたちに魅力ある学校教育を提供する	学校に行くのは楽しいと思う(どちらかといえばそう思う)児童生徒の割合(%)	①86.7 ②79.6	①85.9 ②80.0	①90.0 ②90.0	B 未達成
	①小学校 ②中学校				
	不登校児童生徒の割合(1,000人あたり)(人)	14.5	15.6	10	B 未達成
男女が協力して子育てできる環境をつくる	夫の家事・育児分担などの家庭環境に対する満足度(%)	78.0	77.2	83.0	B 未達成
	ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる市内事業所数(事業所)	1	4	5	A 達成に向け進捗または達成

基本目標4 安心して便利に暮らせるまちをつくる

	全 KPI	数値目標	(KPI)
A	4	0	4
B	5	2	3
C	2	0	2
合計	11	2	9



数値目標の進捗状況(実績値及び目標値は3月末時点とする)

指標名	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
公共バス路線の延長(距離)(km)	35.8	36.4	41.4	B 未達成
徘徊ネットワーク見守り市民会員登録数(人)	—	54	100	B 未達成

基本的方向

重要業績評価指標(KPI)(数値は平成29年度3月末日時点とする)

基本的方向	KPI	初期値	実績値(H29)	目標値(H31)	進捗
多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくり	コミュニティバスの利用者数(人)	33,058	37,486	39,300	A 達成に向け進捗または達成
	超小型モビリティレンタカー利用者数(人)	—	70	800	B 未達成
「医学」を基礎としたまちづくり(MBT構想の展開)	ライフサポート拠点の利用者数(人)	—	0	3,600	C 実績値なし
	健康・医療関連の新規サービスや事業の立ち上げ件数(件)	—	0	4	C 実績値なし
安心して暮らし続けることができるまちづくり	地域密着型介護サービス事業所の指定件数(件)	2	6	6	A 達成に向け進捗または達成
	防犯カメラ設置駅数(駅)	3	4	13	B 未達成
歴史と風土を活かしたまちづくり	特別史跡藤原宮跡の国有化面積(ha)	50.7	53.06	55.0	A 達成に向け進捗または達成
	生物多様性啓発回数(回)	—	4	10	B 未達成
多様な主体との連携・協力によるまちづくり	市民活動交流広場の利用者数(人)	15,069	16,031	18,000	A 達成に向け進捗または達成